



いずみさの昔と今 第311回

「中世の民衆と法華経信仰〜慈眼院のこけら経〜」

現在、開催中の歴史館いずみさの秋季特別展「いのりよ、とどけ」に関連してこけら経を題材に中世の民衆と法華経信仰（ほけきょうしんこう）について紹介します。

泉佐野市有形民俗文化財に指定されている慈眼院所蔵のこけら経は、本堂天井裏から発見されたもので、木片を長さ約25cm、幅約1cm、厚さ1.5cmほどに薄く割削いで作成されています。経木の両面には、法華経が書写されており、バラバラで見つかることが多いこけら経にしては珍しく一束の状態です。残念ながら書写された年月日などが記されておらず、正確にいつ頃作成されたかは不明ですが、経木1枚ごとの幅の狭さや、経木両面への書写という点から鎌倉時代作成と想われます。

こけら経や、経木（きょうぎ）と呼ばれる薄く削いだ木の板に経文を書写したものをこけら経といいます。通常は一枚の経木一面に17字、表裏の両面に書写する場合は両面で34字ずつを書写し、20枚もしくは40枚で一束にしました。お寺への奉納や、経塚のように埋納される場合は、經典一卷分（経木数千枚）を一巻にすることもありましたが、また、写経の形式は、手本である法華経の形態に影響されたよう

で、20行ずつに切断し折本へ仕立てた春日版法華経が登場する室町時代半ば（1450年代）には、両面写経から片面写経へ移行したといわれています。また、こけら経は塔婆を建てる造塔の功德と写経することにより願いが成就すると説く写経の功德が一つになっていくと考えられたため、法華経の功德と習合し、死者への追善供養と来世の幸福を願って逆修（さやくしゆ）（生前供養）に用いられることになりました。苦しい現実から逃れ、来世で幸福を得ようという願いが形になったものといえるでしょう。

法華経は滅罪・往生など様々な解釈がありますが、主として法華経を信仰すれば、現世においては安穩を、後世（来世）では善なる所に生まれると説くものであり、現世の利益と来世の幸福を願うものでした。武士の台頭、寺院の荒廃、僧侶の武装化など社会世相の悪化と共に末法思想が広まる宮廷社会において、現実の不安から逃れるために現世と来世での幸福を祈る法華経信仰や、自己の極楽浄土（ごくらくじょうど）への往生を説く阿弥陀信仰（あみだしんこう）が広まるのは自明の理といえます。その結果、現実から離れる死に対して、念仏を唱え、法華経を読んで死後の幸福を願うようになります。当時

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの ☎469-7140 Fax469-7141 休館日 月曜日、毎月最終木曜日（いずれも祝日の場合は開館し、その翌日が休館） 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで） 入館料 無料



の貴族の日記には、念仏や法華経の読誦が多数記されており、流行の様相がうかがえます。更に、鎌倉時代には日蓮の登場により民衆社会への法華経流布が加速しました。 莊園進出を目標む武士や寺院勢力は、民衆からすれば現世における苦悩だったのでしょうか。特に守護勢力と根来寺の双方に地理的にも経済的にも遠からぬ日根荘の民衆にとっては、法華経の説く功德は希望であったと思われまふ。 慈眼院金堂に納められた法華経書写のこけら経もこうした現世と来世の幸福を願う日根荘の人々によって写経されたのかもされませぬ。

慈眼院所蔵「こけら経」（泉佐野市有形民俗文化財、「泉佐野市の文化財」より）

日本遺産・中世日根荘を巡る②⑧ ～旅引付編（12）「土丸・雨山城跡（後編）」～

「日本遺産」に認定された「旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—」のストーリーを構成する泉佐野市の文化財等を紹介いたします。 問合せ先 文化財保護課



◀政基公旅引付 ※旅引付の写真は、歴史館いずみさの所蔵の複製を使用（原本は宮内庁書陵部所蔵）



日根荘大木の農村景観

土丸・雨山城の山頂や曲輪などからは、大阪湾や関西国際空港をはじめ大阪南部のまちなみや大阪府唯一の重要文化的景観である大木地区の農村景観を眺めることができます（令和3年度ビュースポットおおさか選定）。また、空港方面の夜景もきれいに見ることができます。

南北朝までさかのぼる古い城であり、室町時代から戦国時代にかけては和泉と紀伊の境目の重要拠点として、日本の歴史上おおきな戦いの中で使用されました。

最初の城主は、日根野を拠点とする武士 日根野氏で、その後、南朝方で楠木一族の橋本正督（正高）が城主となりました。

『政基公旅引付』にも戦乱から逃れようとした日根荘入山田村の人々が山にこもったり、家財を隠したりしたとの記述もたびたび登場しており、遺構や祭り、記録などから水と雨乞い信仰の場であり、村人が山に逃げ込んだり身近に接したその山と戦いの場となった城郭が共存するいわゆる「人びとを守る山」としての姿を伺うことができる貴重な山城です。